

数理・データサイエンス・AI 教育強化拠点コンソーシアム

令和5年度第3回四国ブロック運営会議議事要旨

1. 日時 令和6年2月13日(火) 15時00分～15時45分
2. 場所 遠隔 (Microsoft Teams 利用)
3. 出席者：[徳島大学] 大藪准教授、瓜生助教、[鳴門教育大学] 阪東准教授、田中准教授 [愛媛大学] 平野教授、松浦教授、原本准教授、高橋教授、[高知大学] 野村教授、李特任助教 [香川大学] 吉田副学長、高橋教授、林教授、宮崎教授、西本准教授、藤澤特命講師、久保特命講師
陪席者：[徳島大学] 岩森課長、齋藤副課長、[鳴門教育大学] 大林係長、三室係員 [愛媛大学] 森田課長、越智事務補佐員、石川研究補助員、[高知大学] 西村課長、福島係長、晦日係員、[香川大学] 角田課長、松本事務補佐員、中村技術補佐員

開会に先立ち、高橋議長（香川大学）より挨拶があった。また、司会進行は、高橋議長の指名により林教授（香川大学）が行うこととなった。

4. 議題

(1) 令和5年度四国ブロック活動報告について

宮崎教授（香川大学）から、議題資料1に基づき令和5年度の四国ブロックの活動について報告があった。

(2) 令和6年度四国ブロック活動計画について

高橋議長から、議題資料2に基づき令和6年度の四国ブロックの活動計画について説明があり、6月～7月に愛媛県でワークショップ及び運営会議を開催することなどが確認された。

(3) 四国経済産業局との協力体制について

高橋議長から、今年度の四国経済産業局との連携状況について報告と議題資料3に基づき実務家教員派遣希望様式について説明があった。

また、各県ごとに企業との取り組み事例の報告や実務家教員派遣希望様式について意見交換が行われ、今後も運営会議メンバーで企業との連携及び実務家教員派遣について検討を重ねる旨が確認された。

各県の企業との取り組み事例と実務家教員派遣希望様式についての意見は以下のとおり。

- ・徳島大学 デザイン型 AI 教育研究センターが AI 教育の認定プログラムを担当し

ている。データサイエンスの分野で徳島新聞に定期的な助言活動や積極的にデータサイエンス・AIを活用している農業支援センターと繋がりがあある。

- ・鳴門教育大学 現況では企業との繋がりはなく、実務家教員と連携出来る方法を探っている。
- ・愛媛大学 繋がりのある企業はいくつかあある。実務家教員となれる方、実務家として指導助言いただける方がいるかどうか、照会する先はあある。
- ・高知大学 現況では企業との繋がりはなく、この運営会議を機に学内で企業連携について情報収集を進めていきたい。
- ・香川大学 自大学の他部署を通じて企業と対話する機会はあるものの、企業との連携が多岐にわたり、数理データサイエンス事業での本格的な連携には至っていない。実務家教員派遣希望様式を利用して、企業と大学の需要を確認しあうことが必要だと考えている。

最後に、鳴門教育大学（阪東准教授）から、学内で実務家教員や企業との連携を持ちたいと検討しており、四国ブロック運営会議メンバーから紹介して頂けないか、との質問がああり、高橋議長から現段階では紹介できないが、企業との連携及び実務家教員派遣について、四国ブロック全体で情報共有し連携できるシステムを開拓していきたい、との回答がああった。

（4）その他

高橋議長から、数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム四国ブロックシンポジウム及び令和5年度四国ブロック総会について概要説明がああり、参加依頼がああった。

閉会挨拶 平野教授から、閉会の挨拶が述べられた。

以上